



学校通信

つららん便り



倉敷市立連島東小学校

第3号

令和3年5月12日

<http://www.kurashiki-oky.ed.jp/school/turahigashi-e/>

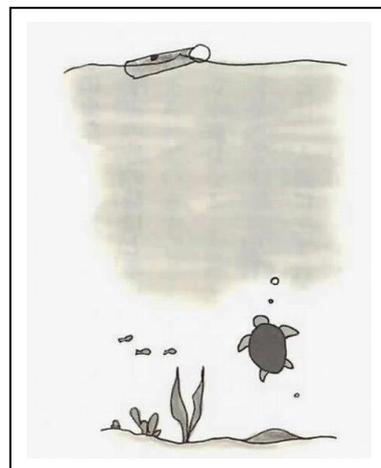
先日の放送朝礼でやっと始業式の話のまとめができました。少し間が空いてしまったのですが、その分一人ひとりがきちんと考えて自分なりのできることを見つけてくれたようにも思います。

“〇〇〇〇〇がいっぱい学校の“の答えは「ありがとう」でした。そこで「ありがとう」の由来とされる話を子どもたちにしました。高学年のために少し詳しく紹介しておきます。

語源は“有り難い”…<存在しがたいこと めったにおこらない貴重な出来事>を意味します。お釈迦様が弟子の阿難に伝えた話が“盲亀浮木の譬え”(もうきふぼくのたとえ)とされています。

話の概要は「海の底に目の見えない一匹の亀がいて100年に一度だけ海面に顔を出す。大海原に一本の丸太が浮いていてその真ん中には拳ほどの穴があいている。この亀が丸太の穴に頭を入れることがあるか」というものです。そんな確率はほぼ無いに等しいですね。

地球上の生き物の総数770兆。そこから人としてこの世に生を受け、今、この瞬間ここにいられることはまさに奇跡です。そしてたくさんの人とともに過ごせること 同じ時間を共有できることも考えてみるとすごいことですね。人はたくさんのおかげで生きている。自分以外の人を思い、他人に何か親切に優しくすることは有難いことです。相手に感謝する気持ちをもてれば、相手のちょっとした気遣いや優しさを感じ取ることもできるようになる。ありがとうは幸せになるための魔法の言葉ではないでしょうか？連東小を“ありがとう”がたっぷりの学校にしていましましょう。



学校探検リベンジ

5月11日(火)



4月の終わりに2年生と1年生の学校探検が行われたのですが、あいにくその時間に来客があり、校長室が探検できなかつたので、1年生がリベンジにやってきました。

「この写真の人は誰ですか？」

「この学校の歴代の校長先生だよ！先生で28代目になるよ！」

「どうしてさすがたくさんあるの？」

「お客さんを迎えるためだよ！」などなど素朴な疑問いっぱいの1年生でした。

“キャラクターをさがせ”ミッションもふまえて、隈なく校長室を探検できたようです。